

# 山形県感染症発生動向調査 週報

## 2026年 第21週

(2026年5月18日~2026年5月24日) 2026年5月27日 発行

山形県感染症情報センター(山形県衛生研究所)

TEL.023-627-1109

### < 定点把握感染症 >

◎ : 警報レベル ○ : 注意報レベル

定点種別	感染症	全国			山形県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積(県)
		第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	
急性呼吸器感染症	内科・小児科 (定点医療機関数)	(39)			(7)			(10)			(4)			(6)			(12)						
	インフルエンザ	527	21	7	▼	3	2	▼	4	1	▼	1		▼	8	2	▼	5	2	▼	9667		
	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	1395	24	28	▲	4	10	▲	9	2	▼		1	▲	8	12	▲	3	3		1836		
小児科定点	(定点医療機関数)	(26)			(6)			(7)			(3)			(3)			(7)						
	RSウイルス感染症	633	13	7	▼		2	▲	8	3	▼			4	2	▼	1		▼	631			
	咽頭結膜熱	974	10	21	▲		4	▲	6	6		1	1	1	6	▲	2	4	▲	200			
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6828	131	127	▼	24	17	▼	57	66	▲	4	2	▼	19	24	▲	27	18	▼	2547		
	感染性胃腸炎	11317	82	93	▲	17	27	▲	17	29	▲	9	7	▼	15	11	▼	24	19	▼	3168		
	水痘	1095	32	32		5	4	▼	4	5	▲	3	15	▲	2		▼	18	8	▼	365		
	手足口病	1477	10	16	▲				1		▼				9	15	▲		1	▲	40		
	伝染性紅斑	196	3	1	▼		1	▲	1		▼	2		▼							90		
	突発性発しん	823	6	12	▲	2	7	▲	1		▼	1		▼	1	5	▲	1		▼	174		
	ヘルパンギーナ	331		2	▲					1									1		▲	5	
	流行性耳下腺炎	84		2	▲		1	▲		1	▲											7	
眼科定点	(定点医療機関数)	(8)			(1)			(3)			(1)			(1)			(2)						
	急性出血性結膜炎	8																			0		
流行性角結膜炎	358	1	2	▲				2		▲	1		▼							88			
基幹定点	(定点医療機関数)	(10)			(2)			(2)			(1)			(2)			(3)						
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	30																			1		
	クラミジア肺炎	7																			0		
	マイコプラズマ肺炎	75	1	1		1		▼							1		▲				42		
	細菌性髄膜炎	10	1		▼	1		▼													6		
無菌性髄膜炎	13	1		▼										1		▼				3			

・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

### < 通信欄 >

〇トピックスで、「水痘」について掲載しています。

### 警報・注意報の基準値(参考値)

疾病名	警報レベル		注意報レベル
	開始	終息	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

令和7年第15週から、国の新しい基準が発出されるまでの間、警報・注意報の基準値については参考値として取り扱います。

- ・定点把握感染症の定点当たり報告数グラフ・全数把握感染症の年間累積数については別紙(グラフページ)をご覧ください。
- ・ウイルス分離・検出状況については、衛生研究所のHPをご覧ください。
- ・感染症のCSVデータは、衛生研究所HPからダウンロードできます。

< 定点把握感染症 年齢別報告数 >

種別点	感染症	年齢													合計		
		～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳		20～29歳	
急性呼吸器感染症定点	内科・小児科																
	インフルエンザ						1				1	1		2	1	7	
		30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～										
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	28		
		1	5		5	3	1	1		1		3					
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～											
小児科定点	RSウイルス感染症			2	3		1	1								7	
	咽頭結膜熱		2	14	2	1	1	1								21	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	1	6	10	9	17	11	16	7	20	8	20		1	127	
	感染性胃腸炎	2	10	20	15	6	6	2	7	5	3	4	10	2	1	93	
	水痘		3				3	1	5	2	2	4	10	2		32	
	手足口病		1	12	1			1		1						16	
	伝染性紅斑											1				1	
	突発性発しん		2	9	1											12	
	ヘルパンギーナ				2											2	
	流行性耳下腺炎										1	1				2	

< 全数把握感染症 >

感染症	報告数					備考
	山形市	村山	最上	置賜	庄内	
腸管出血性大腸菌感染症		2	1			型別:O157 VT2(2)、O91 VT1(1)
梅毒	1					

< トピックス >

水痘 注意報レベル

第21週における水痘の県定点当たり報告数は1.23人で、3週連続注意報レベルとなっています。保健所別では最上保健所と庄内保健所で注意報レベルとなっています。

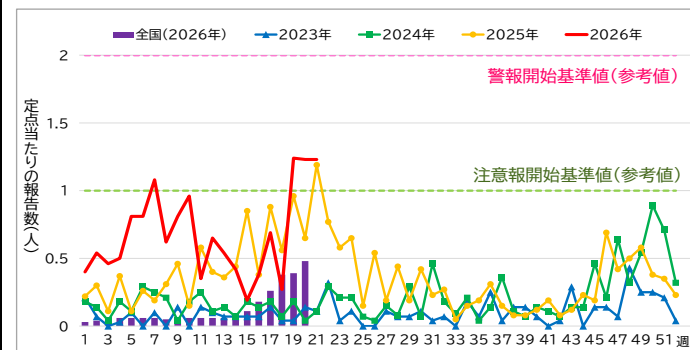


図 山形県・全国定点当たり報告数 (2023年～2026年第21週現在)

水痘とは

水痘とは、いわゆる「みずぼうそう」のことで、水痘帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる感染症です。感染力が強く、空気感染、飛沫感染、接触感染により広がり、潜伏期間は2週間程度です。水痘は小児での発症が多い感染症ですが、成人も感染し、発症した場合は重症化するリスクが高いと言われています。

症状

発しんを発現する前から発熱が認められ、典型的な症例では、発しんは紅斑(皮膚の表面が赤くなること)から始まり、水疱(水ぶくれ)、膿疱(粘度のある液体が含まれる水疱)を経て痂皮化(かひか:かさぶたになること)して治癒するとされています。

予防と対策

水痘ワクチン1回の接種により重症の水痘をほぼ100%予防でき、2回の接種により軽症の水痘も含めてその発症を予防できると考えられています。家庭内での感染を防ぐため、水疱に触れた後の手洗いやタオルの共用を避けることが重要です。

詳しくはこちらへ

厚生労働省



国立健康危機管理研究機構(JIHS)



【急性呼吸器感染症サーベイランス(症候群サーベイランス)】

< 定点把握感染症 >

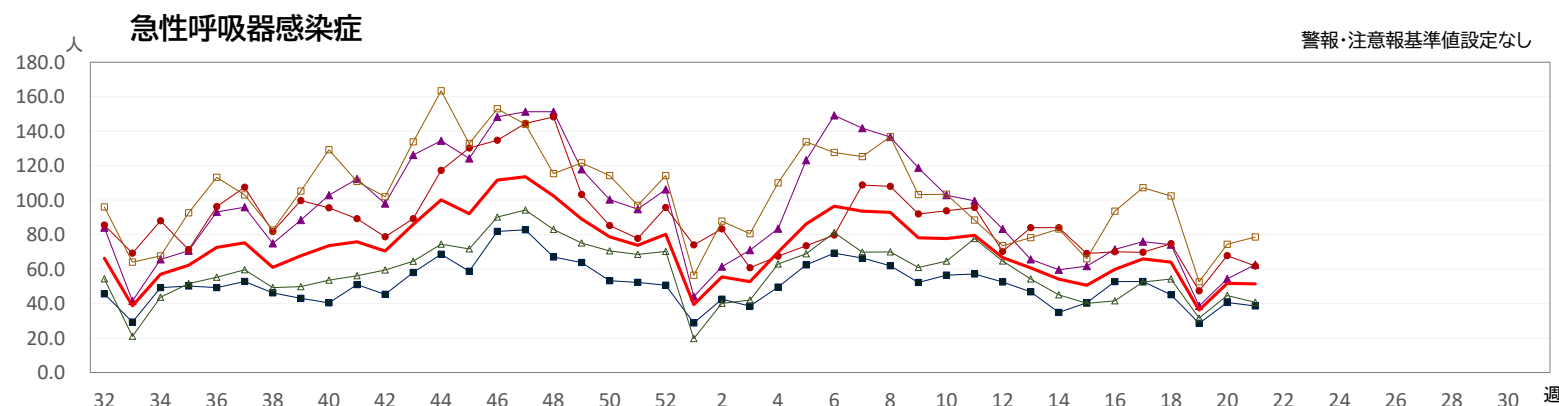
感 染 症	全国	山 形 県			山形市保健所			村山保健所			最上保健所			置賜保健所			庄内保健所			累積 (県) 第1~21週
	第20週	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	第20週	第21週	増減	
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科 (定点医療機関数)		(38)			(7)			(10)			(4)			(5)			(12)			
急性呼吸器感染症	177315 47.59	1965 51.71	1952 51.37	▽	380 54.29	438 62.57	▲	406 40.60	386 38.60	▽	271 67.75	247 61.75	▽	372 74.40	393 78.60	▲	536 44.67	488 40.67	▽	52033

・表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数  
 ・定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

< 定点把握感染症 年齢別報告数 >

感 染 症	山 形 県													合計
	第21週													
急性呼吸器感染症定点 内科・小児科	0歳	1~ 4歳	5~ 9歳	10~ 14歳	15~ 19歳	20~ 29歳	30~ 39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60~ 69歳	70~ 79歳	80歳~		
急性呼吸器感染症	124	930	449	186	40	19	48	37	24	39	27	29	1952	

< 定点当たり報告数グラフ >



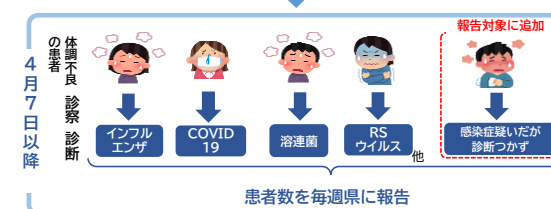
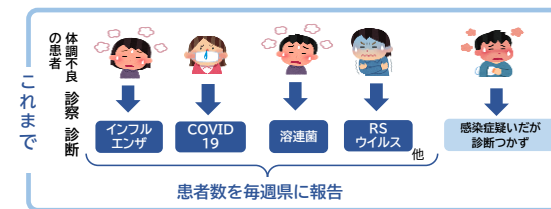
急性呼吸器感染症(ARI)  
サーベイランスについて

平時より、①流行しやすい急性呼吸器感染症の発生動向の把握、②未知の呼吸器感染症が発生し増加し始めた場合に迅速に探知する体制の整備、③国内の急性呼吸器感染症の発生状況について、国民や医療関係者の皆様へ情報が共有できる体制を整備するために、急性呼吸器感染症が2025年4月7日から五類感染症に位置づけられ、サーベイランスが始まりました。

ARIサーベイランスは、症例定義※に一致する患者数の発生を把握する症候群サーベイランスです。

※咳嗽(がいそう)、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

ARIサーベイランスにおける対象感染症は、インフルエンザ、COVID-19、RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎に加え、新たに五類感染症に位置づけられた「(診断名のつかない)急性呼吸器感染症」となります。



詳しくは  
厚生労働省HPへ ▶▶▶

